

発行所 株式会社水産タイムズ社  
編集発行人 大場 隆広  
〒108-0014 東京都港区芝5-9-6  
TEL03(3456)1411 FAX03(3456)1416  
ホームページ <https://suisantimes.co.jp/>  
e-mail [reisyoku@suisantimes.co.jp](mailto:reisyoku@suisantimes.co.jp)

日刊(但し土・日曜・祝祭日休刊)  
購読料 1カ月 5,280円(税別4,800円)  
6カ月 31,680円(税別28,800円)

2024年(令和6年)  
12月9日(月)9294号

## 日本GLP、冷蔵倉庫設備能力業界3位に

### ニチレイロジ、横浜冷凍に次ぐ規模

物流不動産デベロッパーの日本GLPは冷凍冷蔵物流施設に関するメディア懇談会を東京本社で5日開いた。開発の加速により今年、業界3位(ニチレイロジグループ、横浜冷凍に次ぐ)に相当する冷凍倉庫設備能力となったと明らかにした。

駒俊志営業開発部チームリーダー・ヴァイスプレジデント、松脇隆常務執行役員営業開発部長、伊藤晋営業開発部シニアマネージャーが会見に臨んだ。

駒ヴァイスプレジデントは冷凍冷蔵物流施設の実績と展望を概要次のように説明した。

「冷凍冷蔵専用または冷凍冷蔵区画がある当社物件数は、11月時点で開発予定物件を含め33棟。2017年に冷凍冷蔵専門チームを立ち上げ開発を加速した。

冷凍冷蔵倉庫面積の年平均成長率は2017年以降25%増。賃貸済みの冷凍冷蔵倉庫面積は11月末時点で8万7000坪。

冷凍倉庫業界既存大手10社のシェアは3割



駒氏

強で、シェアは年々縮小傾向にある。その分、中堅中小企業に分散化している。

冷凍冷蔵倉庫の需要は増加の一途にある。倉庫の活用率は(一社)日本冷蔵倉庫協会の調べで2023年、6大都市平均約97%に達しており収容能力の絶対量が不足している。また、建て替え目安とされる築40年以上の冷蔵倉庫が3割以上を占める。全国で最も冷蔵倉庫容積が大きい神奈川県でも、築30~40年が33%、築40年以上が11%。

老朽化が進む一方で、建て替えは進んでいない。その背景に高額な建設費、建築資材の高騰、荷物逃し先の確保困難などがあり障壁となっている。

冷凍冷蔵の建築費は常温庫の2倍。建築費は直近3年で約30%上昇した」。

### 今後3~5年で冷凍冷蔵面積を倍増する

「今後3~5年で約200億円を投資し、冷凍冷蔵面積を倍増する。

関東で4棟、関西で5棟の計9プロジェクトが進行している。冷凍冷蔵倉庫を求めているのは特に運送系、食品卸、小売業、外食、Eコマース関連などが挙げられる。

卸と情報交換の機会もある」。(2面に続く)

GLP、17万t超冷蔵倉庫を27年竣工……………	2
TM、名古屋支社長に三野氏……………	2
ニッポン、冷食中期戦略は海外も視野	
家庭用冷食8~13%値上げ……………	3
マルハニチロ、家庭用冷食を値上げ……………	3
10月の家計調査、冷食再び高値基調に……………	3
日本アクセス、大阪と横浜で展示会……………	3
餃子の大英、讃岐うどんの皮で餃子……………	4

ほっともっと、ステーキ重など新発売…………… 4

### 業界人脈

(6617)

(株)エターナルホスピタリティグループ  
代表取締役社長CEO

おおくら ただし 氏…………… 2